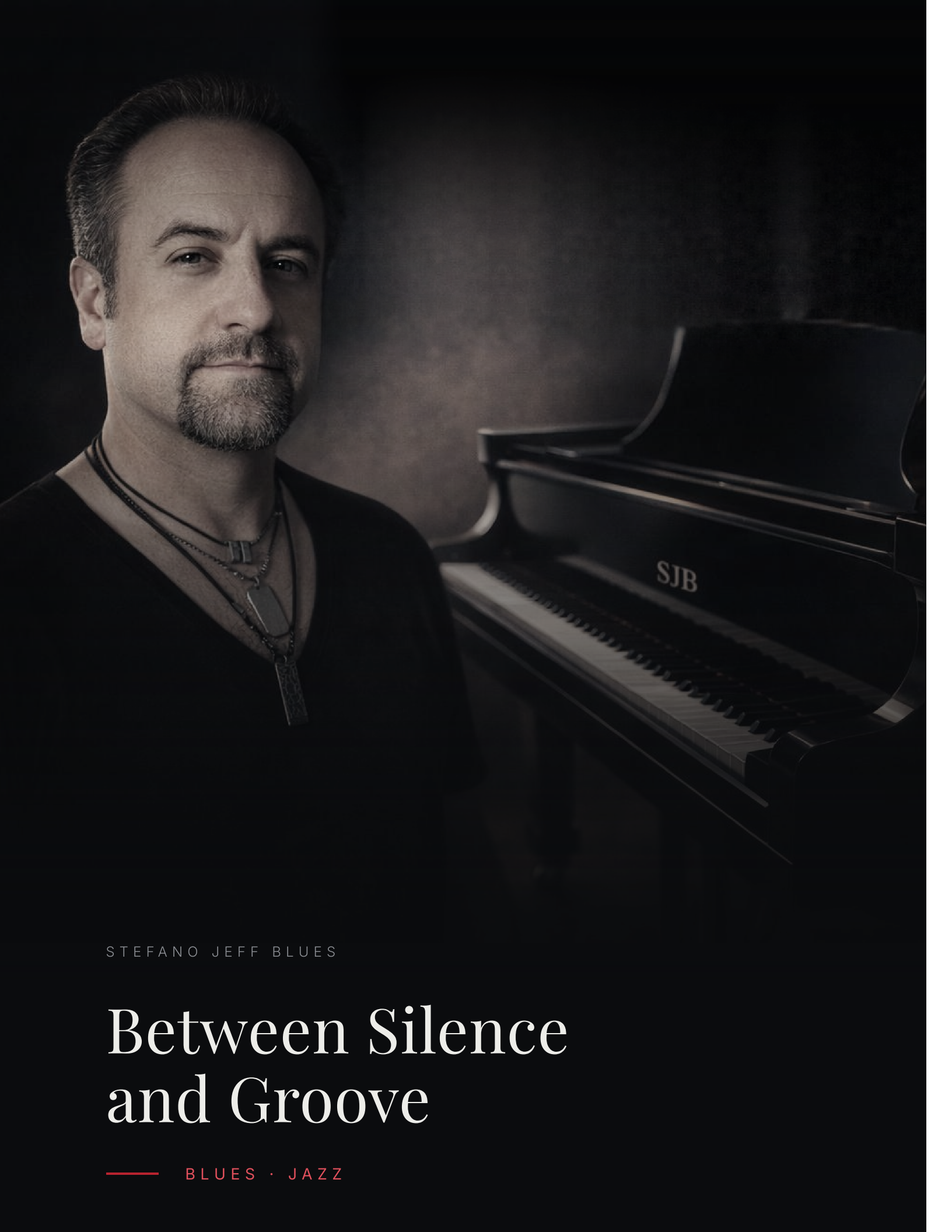




STEFANO JEFF BLUES

# Between Silence and Groove

— BLUES · JAZZ

---

ブルースの情感とジャズの和声が出  
会い、夜の気配をまとった人間的で  
親密な響きになる。そんなアルバム  
です。

即興とリズムの脈動のあいだに生きる一枚。真実の感  
情と洗練されたハーモニーのあいだを行き来します。  
ブルースに根を持ち、ジャズの語法で広がり、ソウル  
の精神に支えられた音楽。伝統のうえに立つ現代の作  
品であり、ジャンルの境界よりも、感覚と空間とつな  
がりに目を向けています。

アルバムはひとつの途切れない夜として進みます。章も、区切られた幕もなく、ただ一定の流れが、聴く人を夕暮れから夜のもっとも深い時間へと運んでいきます。音楽はつねに制御と解放のあいだにあります。呼吸する確かなグルーヴ、漂うにまかせる開かれたセクション、あらかじめ書かれたのではなくその場で見つけられたように響く旋律。

A dark, atmospheric photograph of a rainy street at night. A red bicycle is leaning against a black lamppost in the foreground. The street is wet and reflects the light from a distant lamp. The background is dark and blurry, suggesting a quiet urban environment. The overall mood is somber and reflective.

このアルバムは、グローヴが空間と出会う場所に息づいています。

驚かせようとするアルバムと、真実を語ろうとするアルバムがあります。これは後者です。

最初の数音から、この一枚は釣り合いのとれた対比の空間を進みます。緊張と安らぎ、グルーヴと自由、人の温もりでやわらげられた暗さ。意味を押しつけることはなく、複雑な象徴も、説明的なメッセージも求めません。ただそこにあり、呼吸し、傍らに寄り添います。

このアルバムの強さは、その自然さにあります。ブルースやジャズの影響は様式のラベルとして掲げられることはなく、ひとつの情感の言語の一部として共にあります。ハーモニーは優雅に開き、また閉じ、もっとも宙に浮いた瞬間にもグルーヴは残り、どの移り目も、厳密に組み立てられた構成ではなく互いに聴き合うことから生まれているように感じられます。

空気は、急ぐことなく過ぎていく長い夜のものです。本当の断絶はなく、感情と陰影と音楽的な対話が続いていきます。音楽は、夜が更けてもう誰かに感心されなくてもよくなり、ようやく自分自身でいられる友人同士の会話のように進みます。

もっとも強く立ちあがるのは、偽りのなさです。技術的な完璧さや名人芸の誇示を追いかけてはいません。求めているのは、もっと稀なもの、つながりです。奏者どうしのつながり、音と沈黙のつながり、奏かれたものと言い残されたもののつながり。

全体から受ける印象は、夜のただなかで弾き続ける奏者たちの姿です。見せるためではなく、いまこの瞬間に留まるために。どの音も本当の必要から生まれ、どの休止にも意味があり、どのグルーブも自由を失わずに自分の場所を見つけています。

これは深く人間的で、思索的で、誠実な作品であり、生きられた経験に根ざしています。分析されたり読み解かれたりすることを求めず、ただ聴かれることを求めるアルバム。そして何より、感じられることを。

即効の効果を求める空気が支配しがちな景色のなかで、この一枚は別の道を選びます。存在すること、温もり、感情の真実。深夜のやわらかな灯りのように聴く人の傍らに残り、控えめでありながら忘れられない音楽です。

収録曲

---

|    |                       |      |
|----|-----------------------|------|
| 01 | Low Light             | 2:26 |
| 02 | Slow City Blues Intro | 2:38 |
| 03 | Pocket Talk           | 2:54 |
| 04 | Blue Note and Velvet  | 2:32 |
| 05 | Midnight Changes      | 2:55 |
| 06 | Backroom Groove       | 2:37 |
| 07 | Quiet Interlude       | 2:54 |
| 08 | After Hours Electric  | 3:18 |
| 09 | Last Train Moving     | 3:23 |
| 10 | Still Warm Outro      | 3:19 |



—— 結び

目指すのは聴く人を感じさせることではなく、奏者と同じ感情の部屋に招き入れることです。

STEFANO JEFF BLUES

# Between Silence and Groove

—— 全十曲

© 2026 Stefano Jeff Blues. 無断複製・転載を禁じます。

